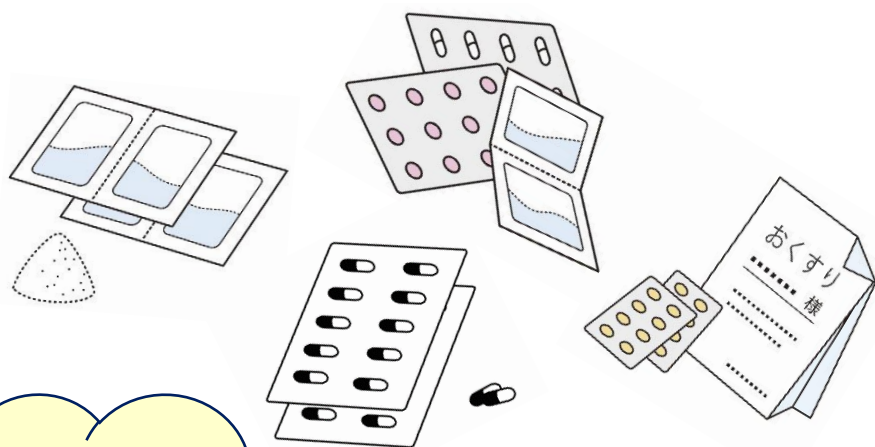


あなたのくすり いくつ飲んでいきますか？

高齢になると、薬の数が増えて
飲み合わせに注意が必要になります。



何種類か
薬を飲んでいるけれど、
重複や飲み合わせは
大丈夫かなあ…



「ポリファーマシー」って聞いたことありますか？

多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなったりしている状態をいいます。単に服用する薬の数が多いことではありません。自分はポリファーマシーかもしれない…と気になる場合は、薬剤師に相談しましょう。

諫早市は、諫早市薬剤師会と連携しながら、
お薬による健康被害の防止のための取組みを推進しています。

「かかりつけ薬剤師・薬局」をもちましょう

- ふだんから利用する薬局を1か所決めておきましょう。
- 複数の医療機関から処方される薬の重複や飲み合わせを確認してもらうことができます
- 薬の履歴を長く総合的にみてもらうことができます。
- 薬のことで困ったことがあったら、いつでも相談できます。

薬について気をつけたいこと

お薬手帳は1冊にまとめましょう

……薬局ごとにお薬手帳を分けるのは間違いです。
2冊以上ある場合は1冊にまとめましょう。

勝手に薬を飲むのをやめない

……薬を勝手にやめると症状が悪化するおそれがあります。

同じ病気で安易に複数の医療機関を受診しない

……重複受診は薬の重複のもとです。
病院のはしご受診はやめましょう。

地域医療ネットワークを利用しましょう

- あじさいネット……長崎県や長崎県医師会などが参画するNPO法人が運営する地域医療連携ネットワークシステムです。
- おくすりネット長崎……長崎県薬剤師会が運営する県内薬局の調剤情報を共有するネットワークシステムです。

利用するとこんなメリットがあります

- ◆ お薬手帳をなくしても、ネットワークに記録が保存されています。
- ◆ 患者さんの情報をもとに的確で細やかな服薬指導が受けられます。

※地域医療ネットワークのご利用については、かかりつけの薬局にご相談ください。